

Ⓐ

国語総合

受験番号	
氏	名

問1 ア 誇大
イ 奇異
ウ 歡喜
エ 映
オ 降臨

問2 a ねじろ
b しゅぎようしゃ
c あつ
d りやく
e よくせい

問3 あ
3
い
2
う
1
え
5

問4 (例) 多くのひとびとが頂上まで到達し、尊像を拜
すること。

問5 鎗岩を登った時に、尊像の顔より汗が流れたこと。

問6 蒙るとういう確信。自分の山林修行の成果によって衆生が利益を

問7 村人がウエストンの登山に非協力的だったから。

問8 迷信的

問9 (例) 急激な近代化に敏感であるがゆえに、前近代的な信心がかえって強化された。

問10 頂上に足跡を残した最初の登山者

問11 1

問12 (例) 念仏行者、播隆は文政一年とその六年後に
信州鎗嶽に登った。彼は自分の山林修行の成
果によつて衆生が利益を蒙ることをお願い、様
々な自然現象も神仏の靈験と解釈する。この
ように信仰を主目的とするのが前近代までの
登山であった。一方ウエストンは明治七年
に飛騨笠ヶ岳に登った。稜線からは見える眺
を大いに楽し、「最初の登山者」である。こ
とを誇らしげに記し、「現代登山のこの目的で
ある。」と頂

計	問12	問11	問10	問9	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1

2022年度一般入試 A日程

— 傾向と対策 —

国語総合

出題のねらい

大学生として必要な読解力と文章力、すなわち、論理的文章を読んで内容や論の組み立てを理解できるか、また、それについての自分の考えを表現する力があるかを問うことを目的として出題しています。ある程度の長さの文章を読んで、文章全体の構成や主旨を正しく理解し、設定された問題に応じて自分の意見をまとめることを要求します。年度によって文学史や文法の知識に関して出題することもあります。

出題形式・内容（分野）について

形式はこの数年変わっておらず、3000～3500字程度の文章とそれについての10前後の小設問で構成された大設問が1題というかたちで出題しています。出題範囲は現代文のみで論説文が多く、とくに文化論や社会学・心理学に関連した文章を多く取り上げています。2022年度のA日程では菊地大樹氏の『日本人と山の宗教』から出題しました。著者は中世史をとくに宗教という視点から研究しています。本書は書名からも明らかなように、「山の宗教」をテーマとしています。近世の宗教的な意味を持たせた登山と、西欧近代的な登山との対比を述べている部分で問題を作成しました。基本的な漢字の読み、書き、語の補填の問題から内容を問う問題まで、12問を設定しました。まずは正確に文章を読みとっているかを把握することをねらいとしています。漢字に関しては大学生として様々な文献を読みこなしていかなければならないと考え、高校までの学習範囲に限らず、一般的なものをも含めて出題しています。また、論理の展開を踏まえてきちんと内容を押さえていることを確認するための設問を多くしてあります。問12はこの文章のテーマでもある「前近代の登山と近代登山との大きな断絶」について150字以上200字以内でまとめるという問題です。200字でまとめることは試験時間の中では難しいと感じられるかもしれませんが、最初に問題に目を通したうえでポイントを拾っておき、解答に取りかかれば無理ではないはずです。採点はすべて手作業で行っています。

採点後の感想・効果的な学習方法

「出題のねらい」にも記載したとおり、大学生として要求される基本的な読解と表現の力を問う出題ですので、普段からいろいろな文章を読み、考え、書く習慣をつけておくことが大切です。同時に設問の要求することを正確に読みとり、それに応えていくことも必要です。例えば「抜き出し」なのか、自分の言葉で「まとめ」なのか、何字で書くことを要求されているのか、といった「きかれたことにきちんと答える」という姿勢がもっとも大切です。問4では「二十五字以内でまとめ」ることを、問6では「三十字以内で抜き出す」ことを求めています。そういう要求にきちんと答えてください。そして繰り返し出てくる表現はキーワードとしてしっかり押さえましょう。また、キーワードや字数の指定は「抜き出し」たり「まとめ」たりするための大きなヒントになります。